

ともに創り出す



同好会ひろば

第260号
H28. 9. 8
No.3

フィールドワーク報告

8月5日（金）にフィールドワークを行いました。今年のフィールドワークは、名古屋市や三重県の施設をめぐる四つのコースを設け、参加者の興味・関心や担当学年に応じてコースを選択できるようにしました。それぞれのコースの見学先や様子は以下の通りです。

【Aコース】

「港防災センター」「水の歴史資料館」などを見学しました。「港防災センター」では地震体験や煙道体験を行い、「水の歴史資料館」では応急給水栓の開設作業を行いました。



【地震体験の様子】

【Bコース】

「末廣堂」「ノリタケの森」などを見学しました。「末廣堂」では名古屋扇子づくりの体験を行い、「ノリタケの森」では、陶磁器づくりについて学びました。



【扇子づくり体験の様子】

【Cコース】

三重県にある「川越電力館」「輪中の里」を見学しました。「川越電力館」では火力発電所について学び、「輪中の里」ではのりづくり体験を行いました。



【のりづくり体験の様子】

【Dコース】

「名古屋地方・高等裁判所」「水素ステーション」などを見学しました。「名古屋地方・高等裁判所」では実際に裁判を傍聴し、「水素ステーション」では水素の充填体験を行いました。



【水素の充填体験の様子】

見学の後、夕方からは、参加者全員がーか所に集まり、それぞれのコースで学んだことを報告し合いました。どのコースにおいても驚きや発見があり、充実した1日になりました。

【第260号 紙面】

フィールドワーク報告 (p1)

7月小学校部会・中学校部会報告 (p4)

訪問インタビュー 長坂 和哉 先生 . . . (p2・3)

今後の予定 (p4)

長坂 和哉 先生

名古屋市の社会科教育を発展させるため、研究会役員、校長会社会科部会長などを歴任された長坂和哉先生。先生の豊富なご経験を基に、今後の同好会活動を充実させていくための貴重なお話を伺いました。



<経歴>

昭和52年、名古屋市立昭和橋小学校分校（現在の玉川小）に着任。以降、旭丘小、貴船小、名城小を経て、県教委義務教育課指導主事に。その後、森孝西小校長、市教委学校教育部主幹、山吹小校長、汐路小校長、白鳥小校長を歴任される。社会科では、研究会役員、校長会社会科部会長などを務められる。

現在は、名古屋市教育スポーツ協会野外教育課長としてご活躍されています。

名古屋市教育スポーツ協会野外教育課の事業について

私は、半世紀にわたって名古屋の子どもたちのために積み上げられてきた二つの教育事業に携わっています。

一つは、野外教育事業です。中津川・稲武での野外教育活動が円滑に行われるよう、安心・安全なバス輸送と給食提供に努めています。夏休み期間は、川遊びやテント泊等を支援するため、市野外活動指導者協会のご協力により、協会の先生方を野外教育カウンセラーとして派遣しています。同好会の中にも指導者協会に所属する先生がいらっしゃいます。カウンセラーのご尽力に感謝しています。

もう一つは、科学教育事業です。野外観察・採集・見学、製作実験、コンピュータ等、「小中学生科学教室」の企画・運営にあたっています。25年ほど前から社会科関係の産業・歴史コースが設定され、同好会の先生方に講師をお願いしてきました。過去の資料に目を通すと、先輩方が候補地を踏査し、素材を発掘しながら、多様で魅力ある見学コースや体験活動を開発された熱い思いが伝わってきます。こうした伝統を受け継ぎながら、今夏も「郡上八幡」「長浜」「中部国際空港」の3コースに取り組んでいただき、ありがたく、頼もしく思っています。

変革期の教育現場について

稲武・中津川への引率者を見ても、若い先生が多くなっており、野外教育の意義や指導技術、安全面への配慮事項等を伝授できるミドルリーダーの必要性を実感しています。また、教育をめぐる報道では、昨年「次期学習指導要領改訂～能力観の転換」「アクティブ・ラーニング」「チーム学校」「『ゆとり』との決別」等、教育の振り子が大きく揺れるような印象を与える見出しが目につきます。新たな課題に対して、教師として主体的に対応するために二つのことを意識してみてください。

一つは、時代が変わろうとも普遍的「分かる授業、楽しい学校」を自分なりの具体像をもって問い続け、追求することです。白鳥小でタブレットパソコンやデジタル教材の活用を試行した折も、「よい授業には、まず学級経営、次に指導技術、そして教材研究」という、同好会の先輩に幾度となく指導された言葉を忘れず、ICTはあくまで教具として取り組むようにしました。変革の時ほど、「温故知新」「不易流行」といった考え方を大切にしたいものです。

もう一つは、社会科教師として教育施策にも関心をもち、情報を基にその効果や課題等を自

分なりに整理してみる事です。例えば、「チーム学校」について、どんな協働体制が構想されているのか、捉えることができますか。名古屋では「子ども応援委員会」等で既に進められている内容もあると考えますが、設置校以外の先生方も趣旨や活動内容を自分なりに整理してみる事が大切です。基本的な知識と自分なりの考えをもって、新たな動き・施策に向き合うことが、指示待ちや横にらみでなく、主体性のある対応の基盤になると思います。

社会科同好会への期待

私は、校内の先輩に誘われ、自分の学級の子どもたちを育てるヒントを得ようと同好会に参加しました。先輩の実践に憧れ、真似から入って自分なりに組み立ててみたり、子どもたちを驚かせることが楽しくて、概念崩しのネタづくりに没頭したりしたことが良い思い出です。同輩や後輩とも率直に意見を交わらせながら実践を振り返ることで、子どもと向き合う上での基礎・基本が身に付きました。

勤務校で様々な立場を与えられた時も、市教委でほのか小や笹島小・中の開設、稲武野外教育センターの改築等を担当した際も、地域の実情や人々の思いを捉えるために足で稼ぐという習性や、多様な意見がぶつかってこそ協議は深まり合意形成につながるという感覚をもって取り組むということは同好会で学んだことです。是非、同好会で学んだことを自分の授業だけでなく、広く生かしてください。社会科の授業は難しいと感じ、苦手意識をもっている校内の先生方に声を掛け、授業の流れや資料を提供するなど、共に学び、頼られる存在になってください。

同好会の財産は、何といても「人との出会い」です。同好会には、多彩な経験、発想や価値観、個性ある人材が集まっています。先輩や後輩との出会いを大切に、自分の成長にとってのチャンスと捉えてほしいです。後輩は先輩の経験・知恵に学び、先輩は後輩の感覚・発想を吸収しましょう。自由闊達な実践交流の場や研修の体制をさらに工夫して、みんなで学び合い、知恵を出し合い、あの先輩に相談してみたいといった声が多く聞かれることを期待します。

同好会の活動は、社会の変化や学校を取り巻く状況、会員のニーズ等を踏まえて、工夫・改善が図られてきました。現在、ミドルリーダーの育成を重視し、「ともに創り出す」をキーワードに同好会が活動を進めていることは、これからの名古屋の教育に寄与する上でも望ましいことです。また、同好会が小中一体の組織であることは全国に誇れるものです。小中の先生方が交流する場を意図的に設定して、全小社研名古屋大会による会員相互の力量向上と組織力の強化を、全中社研名古屋大会の糧としていきましょう。



全小社研名古屋大会の成功を確信

会場校を引き受けて退職した者として期待と感謝の気持ちでいっぱいです。プレ実践等での子どもたちの様子、先生方の意欲・姿勢から、同好会が組織を挙げ、会場校との一体感を大切にして取り組んでいることが伺えます。「会場校の子どもが育った、先生方もやって良かった」と言える大会になることを確信しています。同好会としても自信をもって全国に発信してください。

7月小学校部会活動報告 7月29日(金) 於 愛知県スポーツ会館

全小社研名古屋大会の理論の学習活動の工夫に焦点を当て、授業の導入とまとめの場面の進め方について検討しました。3人の推進部員が模擬授業を行い、発問や指示、資料提示の在り方について活発な意見交換がされました。導入とまとめの場面で大切にしなければならないこととして共有できたことは以下の通りです。

導入の場面	前時までの学習のまとめに記述された子どもの考えを踏まえ、考えを覆すような資料提示をしたり、考えが異なる子どもの意見を発表させたりすることで、「知りたい」「確かめたい」という意欲を高めるようにすること。
まとめの場面	本時の学習を振り返る中で、次の時間の学習内容につながる疑問をもたせ、疑問に対する予想を話し合うようにすることで、問題意識が連続していくようにすること。

7月中学校部会活動報告 7月29日(金) 於 愛知県スポーツ会館

各分野グループの1学期実践の報告と成果・課題の検討を行いました。分野の特性を生かした「教材化」と「学習活動」が工夫されているか活発な意見交換がされました。地理的分野グループは単元「九州地方」、歴史的分野グループは単元「幕藩体制の確立と鎖国」、公民的分野グループは単元「現代社会の見方や考え方」の実践が報告されました。1学期実践の報告と検討を通して共有できたことは以下の通りです。

地理的分野	地理的特色を捉えることができるようにするには、学習対象の地域が直面している自然的・社会的な課題を克服するための人々の工夫や努力を基に、よりよい地域の在り方について考え、話し合うこと。
歴史的分野	様々な視点から歴史的事象の意味や時代の流れ・特色を捉えることができるようにするには、歴史的事象についての考えの根拠や立場をはっきりさせて、根拠や立場の異なる生徒同士で考えを比較することができるようにすること。
公民的分野	「効率」「公正」という視点で社会の仕組みや人々の営みの意味を捉えることができるようにするには、地域で実際に起きている社会問題の解決策を様々な立場から考え、話し合うこと。

今後の予定

- 10月20日(木) 全小社研 名古屋大会 名古屋市教育センター
21日(金) 白鳥小・御器所小・ほのか小
- 10月28日(金) 第4回授業づくり研修会
19:00～ 愛知県スポーツ会館
- 11月7日(月) 全小社研反省会・同好会懇親会
18:30～ ルブラ王山
- 11月17日(木)・18日(金) 全中社研 岡山大会
- 11月29日(火) 小学校部会 18:30～ 愛知県スポーツ会館
中学校部会 19:00～ 愛知県スポーツ会館